

ひらか 連携ニュース

当院では、地域医療機関との病診・病病連携の推進・強化を目的に、年1回、「連携フォーラムひらか」を開催しています。今年で第7回を迎えますが、例年、当院や地域医療機関の先生方より、日頃の診療状況についてご報告をいただき、好評を得ています。今年度は、昨年度のアンケートでご希望があった認定看護師の活動について、ご紹介いたしました。

今回は、連携フォーラムについてご報告いたします。

第7回 連携フォーラム ひらか 開催！

日時：平成30年6月15日（金）18：30～

場所：横手セントラルホテル ラポート

参加者：地域医療機関の医師 19名 院内関係者 34名 計 53名

プログラム

1. 開会挨拶 平鹿総合病院 院長 齊藤 研
2. 講演
 - ・ 当院での脳梗塞急性期血栓回収療法の取り組み
平鹿総合病院 脳神経外科
副院長 伏見 進
 - ・ 病院施設における感染対策の取り組み
平鹿総合病院 感染対策室
看護副師長 高橋 由美子
 - ・ 腎臓内科医から診る地域医療について
細谷内科医院 副院長 細谷 拓真
3. 意見交換
 - ・ 地域医療機関より当院に対するご意見
横手市医師会会長 西成 忍
4. 閉会



平鹿総合病院
副院長
伏見 進医師



平鹿総合病院
看護副師長
高橋由美子さん



細谷内科医院
副院長
細谷 拓真医師



今回のフォーラムも、非常に興味深く、日常診療上参考になる内容が多かったと、大変好評をいただきました。細谷先生からは、腎臓内科の専門的治療の他、横手市の人口減少と地域医療、魅力ある地域づくりについて、貴重な講演をいただきました。

フォーラムの最後には、西成医師会長より「細谷先生の講演のように、これからの時代は、医師不足だけでなく、働き手自体が不足する。どのように地域医療を構築し、連携していくのか、横手市全体で考えていきたい。」とお話がありました。

横手市の地域医療の維持・発展のためには、全世代の住民が「これからも横手で暮らしたい」と思えるような活気あるまちづくりが要になることを実感しました。

アンケート結果

- ・急性期脳卒中の最前線を聴くことができよかった。
- ・腎臓内科における留意すべき薬剤や病態について、勉強になった。
- ・今季の感染症について興味ある内容だった。
- ・これからの地域医療や横手の未来について考えなければならない。

<今後、希望するテーマ>

- ・救急医療について ・オープンベッドについて
- ・往診・在宅看取りの実態
- ・健康寿命を延ばすための対策